

2018年12月7日

受験生の皆さま  
関係者各位

神戸薬科大学

## 2019年度公募制推薦入試における入試問題出題ミスについて

2018年11月23日（金）に実施いたしました公募制推薦入試で、「化学」（必須）において、下記のとおり出題ミスがあることが判明いたしましたのでお知らせします。

受験生の皆様をはじめ関係者の皆様にお知らせするとともに、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。今回の事態を真摯に受け止め再発防止に努めてまいります。

### 記

#### 1. 概要

- (1) 入試区分：公募制推薦入試
- (2) 試験実施日：2018年11月23日（金）
- (3) 合格発表日：2018年11月29日（木）
- (4) 対象学部：薬学部
- (5) 出題ミスのあった科目：「化学」
- (6) 対象科目受験者数：542名

#### 2. 出題ミスの内容

- ・大問 **3** 問8について
- ・問8(c)について

解答選択肢の正誤に関しては、(a)が正、(b)が誤、(d)が正であることは疑う余地はなく、「超臨界流体」に関する記載が教科書には十分ではないために超臨界状態で「凝集」が起こるか否かを問う(c)に関しては迷う受験生も多いかとは思われるが、超臨界流体は液体ではないので、凝集は起こらないと考えるのが妥当であることから(c)も正となる。しかし、(a)、(c)、(d)を正とする対応する解答肢は与えられていないために「解なし」となりました。

問題の添削過程で、誤として与えてた(d)の記述が正誤どちらともとりえるような記述であったために、誤解のないように記述を改めたが、その際に正に入れ替わってしまい、そのまま出題に至りました。

#### 3. 出題ミスの発見状況

試験終了後に、入試問題の適正を調査した担当者から出題ミスがある旨の報告があり判明しました。当該科目の出題責任者等が報告のとおりであることを確認しました。

#### 4. 対応について

当該問題については正答が存在しないため全員正解として扱います。

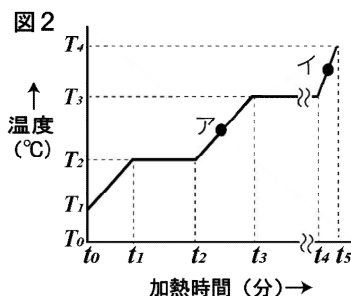
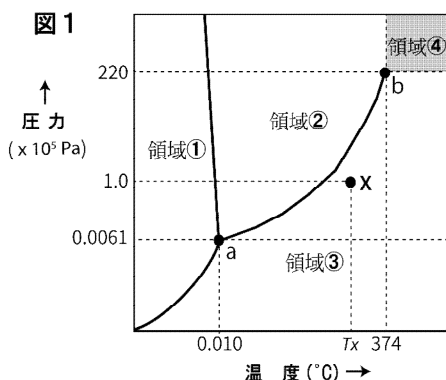
なお、11月29日（木）の合格発表には、化学の受験生全員に当該配点を与え合否判定しております。

3

次の記述を読んで、問い（問8～問12）に答えよ。（23点）

純物質の状態は、その物質がおかれている温度と圧力で決まる。図1は水  $\text{H}_2\text{O}$  の状態図で、温度と圧力によって  $\text{H}_2\text{O}$  がどのような状態になるかを示している。

領域①、②、③では固体、液体、気体のいずれかの状態をとる。図2は、大気圧  $1.0 \times 10^5 \text{ Pa}$  の下で、 $\text{H}_2\text{O}$  (固) を加熱して単位時間当たり一定の熱量を与えていったときの加熱時間と  $\text{H}_2\text{O}$  の温度との関係を示す。



問8 図1に関する記述のうち、正しいもののみをすべて含む組み合わせはどれか。

マーク式解答欄 8

- (a)  $0.0061 \times 10^5 \text{ Pa}$  よりも低い圧力では、いかなる温度でも沸騰は見られない。
- (b) 点 a から圧力を上げていくと、 $\text{H}_2\text{O}$  の融点および  $\text{H}_2\text{O}$  の沸点はともに上昇する。
- (c)  $374 \text{ }^\circ\text{C}$  よりも高い温度では、どんなに加圧しても  $\text{H}_2\text{O}$  の凝縮は起こらない。
- (d) 領域④では、 $\text{H}_2\text{O}$  が気体と液体の区別がつかない状態にある。

- |                 |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|
| (1) [(a)]       | (2) [(b)]      | (3) [(c)]      |
| (4) [(d)]       | (5) [(a), (b)] | (6) [(a), (c)] |
| (7) [(a), (d)]  | (8) [(b), (c)] | (9) [(b), (d)] |
| (10) [(c), (d)] |                |                |